

# 茨城衛星通信センターが IEEEマイルストーン賞を受賞

**K**DDI株式会社旧茨城衛星通信センターが「初の太平洋横断衛星テレビジョン伝送」(First Transpacific Reception of a Television (TV) Signal via Satellite, 1963)に関してIEEEマイルストーンに認定され、2009年11月23日(月)茨城県のホテル日航日立にて記念祝賀会、記念講演会が開催された。

このIEEEマイルストーンは、電気・電子・情報関連の分野で社会に大きく貢献した発明や技術開発を讃えるため1983年に制

定されたもので、発明・開発から25年以上経過したものが対象とされて、現在まで世界で約90件が登録されている。旧茨城衛星通信センターは1963年11月20日に茨城宇宙通信実験所として開所した。同年11月23日、米国の周回衛星リレー1号を経由した世界初の太平洋横断TV中継を米国カリフォルニア州NASA地球局との間で行った。この時送られてきたのがケネディ大統領暗殺のニュースだった。同センターは、山口衛星通信センターに業務移転されるに伴い2007年3月に閉所され、2基のカセグレンアンテナは国立天文台と茨城大学の共同プロジェクトにおいて電波望遠鏡として使われている。11月23日には銘板の贈呈式も行われた。

記念祝賀会後には、IEEE東京支部主催の記念講演会が開催され、今井秀樹IEEE東京支部Chairの開会挨拶の後、KDDI研究所伊藤泰彦代表取締役会長による「茨城衛星通信センターと日本の国際衛星通信のあゆみ」、三菱電機情報技術総合研究所千葉勇副所長(当日代理)から「衛星通信用アンテナの技術的発展」、日本放送教会永井研二専務理事・技師長による「1963年11月23日太平洋横断テレビ中継から衛星放送の発展へ」、IEEE History Committee Milestone CoordinatorのDr. Alexander B. Magoun氏による「The Rise of Satellite TV Transmission」の講演があった。いずれの講演も衛星放送の歴史を紐解くもので、その頃の多くの人々の努力が、今日のニュースの即時伝送やデジタル衛星放送の実用化に結びつき、当時の若者が衛星通信、衛星放送の研究者や技術者を目指すきっかけとなったことを知り感銘を覚えた。■

Space Japan Review編集委員会

